

2025年度 授業コード: 21100200

授業科目	*看護形態機能学Ⅱ					実務家教員担当科目	○		
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期		
担当教員	定永 敦司								
授業概要	<p>看護師として社会の人々の健康の保持と増進を目指し、病を抱える人の日常生活を支える役割を果たすためには、人間の身体の機能および、身体に生じている病態を理解した上で、その身体に適した援助を実践することが重要です。看護形態機能学では、一年間を通じて器官（臓器）系統別にだけでなく、日常生活の行動から身体を把握する視点を通して、人体の構造と機能についての理解を深め、看護に必要な基礎的な知識を習得することを目的としています。後半の『看護形態機能学Ⅱ』では、身体の運動、情報処理、免疫、生殖、発生に関わる人体の形態と構造、その正常な生体機能について解説します。また、一年を通じ学んだ知識を深めるために、解剖実習の見学を行います。</p> <p>実務家教員として、25年余高次機能病院の医師として勤務した経験を通じ、仲間と共に知識を元に命（生と死）について考える機会を設けます。医療専門職として今後人の命に対峙することになる際の最初の礎・道標を得て本科目を修了することを期待します。</p>								
授業形態	対面授業			授業方法	自主学习支援のため、講義資料の一部をClassroomにアップします テーマを提示し、グループワークやディスカッションを行います				
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	1 身体の支持と運動について説明できる 2 情報の受容と処理について説明できる 3 外部環境からの防御について説明できる 4 生殖・発生と老化のしくみについて説明できる 5 体表から見た人体の構造について説明できる 6 身体の形態と機能の基礎的な知識を身に付ける								
理想的レベル	身体の形態と機能の知識と、現場における看護とケアの実践の関連を理解することができる								
評価方法・評価割合									
評価方法		評価割合（数値）				備考			
試験		60							
小テスト		30							
レポート		10							
発表（口頭、プレゼンテーション）									
レポート外の提出物									
その他									
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	NU11102J
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）

テキストで予習を行う 配布資料や小テストで当該部分の復習を行う		1
授業計画		
第1回	テーマ：内臓機能の調節（1） 末梢神経について、自律神経による調節	
第2回	テーマ：内臓機能の調節（2） 内分泌系（ホルモン）による調節	
第3回	テーマ：内臓機能の調節（3） 中枢神経について、視床下部一下垂体系	
第4回	テーマ：内臓機能の調節（4） 甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎、性腺などのホルモン	
第5回	自律神経系、内分泌系の復習	
第6回	テーマ：身体の支持と運動（1） 骨格と筋	
第7回	テーマ：身体の支持と運動（2） 関節	
第8回	テーマ：身体の支持と運動（3） 末梢神経、関節の動き	
第9回	テーマ：身体の支持と運動（4） 筋肉の収縮、代謝と運動、体温とその調節	
第10回	テーマ：情報の需要と処理（1） 脳の高次機能	
第11回	テーマ：情報の需要と処理（2） 中枢神経	
第12回	テーマ：情報の需要と処理（3） 末梢神経	
第13回	テーマ：情報の需要と処理（4） 感覚器－皮膚、嗅覚、聴覚・平衡覚、味覚、視覚 その1 皮膚、嗅覚、聴覚・平衡覚	
第14回	テーマ：情報の需要と処理（5） 感覚器－皮膚、嗅覚、聴覚・平衡覚、味覚、視覚 その2 味覚、視覚	
第15回	テーマ：外部環境からの防御（1） 皮膚の構造と機能、免疫 その1 皮膚の構造と機能	
第16回	テーマ：外部環境からの防御（2） 皮膚の構造と機能、免疫 その2 免疫	
第17回	テーマ：生殖・発生と老化のしくみ（1）	

	男性生殖機能
第18回	テーマ：生殖・発生と老化のしくみ (2) 女性生殖器、発生、胎児循環、分娩、成長
第19回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 消化器
第20回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 呼吸器
第21回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 血液・免疫
第22回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 循環器
第23回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 腎臓・泌尿器
第24回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 内分泌・代謝
第25回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 神経
第26回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 感覚器
第27回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 生殖器
第28回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 新生児・高齢者
第29回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 運動器
第30回	後期学習内容のまとめ 疾病学総論との連携 症例提示
テキスト	ISBN978-4-89632-896-77 からだがみえる 人体の構造と機能 第1版 編集：医療情報科学研究所 MEDIC MEDIA
参考図書・教材 /データ ベース・ 雑誌等の 紹介	定期試験、小テスト、レポートは返却します。
課題に対するフィ	教科書に沿ったスライドによる講義形式の授業を行います。資料は抜粋して配布します。小テストや試験対策の演習も行います。

ードバックの方法	<p>解剖生理学は、範囲が広く、内容也多岐にわたりますが、今後、疾患や治療、ケアの実践について学ば際の基盤となる知識です。</p> <p>体系的な教科書の内容と併せて、自分自身の生活や身体を通して多面的に理解を深めることが大切です。</p> <p>前期と同様に、講義後に講義内容について教科書及び参考資料などをもとに復習してください。毎回小テストを行います。</p> <p>前期に比べ内容がややイメージしにくい範囲もありますので、理解できなかったところは質問をするなど、その都度、整理をするように心がけてください。</p> <p>疾病学総論の講義と連携しながら講義を行うため、予定が変更になる場合があります。</p>
学生へのメッセージ・コメント	